



は せ がわ ただし
長谷川 正

しみん こえ たいせつ かい
市民の声を大切にする会

夜間防災訓練の実施を

問 いつ発生するか分からない大規模災害に備えるためには、日頃の準備と避難訓練が大切である。

災害は、昼間に起きるとは限らないため、少し危険は伴うものの、夜間に地震が発生したことを想定した訓練を実施してはどうか。

答 平成28年6月30日、夜間における避難所の開設や運営を安全に、確実に、さらに迅速に行い、避難者の多様なニーズに的確に対応できる避難所要員を養成するため、指定避難所である三重短期大学で、実践的な訓練を実施したところである。訓練内容としては、避難所開設までの準備・受付訓練、照明確保のためのガス発電機・投光器の取り扱い訓練、移動系防災行政無線の取り扱い訓練を実施した。今回の夜間訓練を通じ、受け付け等の避難所運営を円滑に行うため、また、避難者に安心感を与える効果として、明かりがいかにか大切かということを改めて認識したところである。今後は、各地区の自主防災会による防災訓練の中に夜間訓練も取り入れていただくようお願いしていく。

●その他の質疑・質問●

- 津市体育館解体後の跡地に津波避難用の立体駐車場を建設してはどうか
- 下水道出前教室などを積極的に授業に取り入れるように、市内全小学校にもっと啓発してはどうか
- 競艇事業に係る日本財団への上納金を廃止に持っていくべき
- 津市の各部署の男女の比率を公平に配置してはどうか など



▲職員を対象に行われた夜間防災訓練の様子



さか い だ しげる
坂井田 茂

いっ しん かい
一津会

給食費の無料化あるいは段階的削減の考えは

問 学校給食は、栄養バランスの取れた豊かな食事を子どもに提供することにより、健康の保持増進を図るなど、大きな教育的意義がある。給食費に関しては、家計の悪化を背景に、あるいは子育て世代の継続支援のために、給食費を無料化している市町も出始めている。給食費の無料化、段階的削減等を中心に据えた、子育て世代の経済的負担軽減対策の考えを問う。

答 食材費の実費については、学校給食法の中で保護者が負担すると規定されており、津市でもこの規定に従って保護者に実費の負担をお願いしているところである。

なお、低所得世帯には、就学援助制度により津市が給食費分への助成を行っている。

現在のところ、給食費の無料化や段階的な負担軽減についての計画や予定はない。教育委員会では、行政の役割として、増大するアレルギー対応や安全・安心な給食を提供するための施設環境、そのために必要な職員体制の整備にしっかりと取り組んでいく。



●その他の質疑・質問●

- 小中学校における女性教員の管理職の登用に関して、機会は男女平等に開かれているか
- 教員免許更新制に関して
 - 校種別（小・中）受講者数は
 - 津市職員（幼稚園教諭・保育士）の受講者数は
 - 受講申請から更新手続き終了までの更新制全般の課題は
- 外国につながる児童生徒に関する取り組みについて など



▲外国につながる生徒を対象にした高校進学説明会